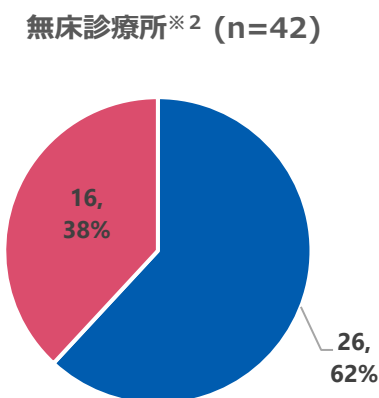
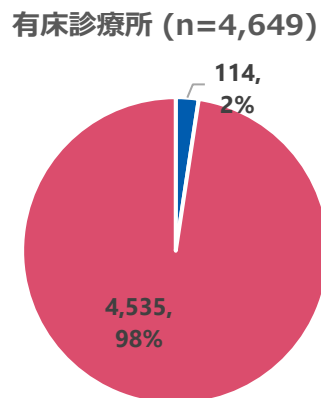
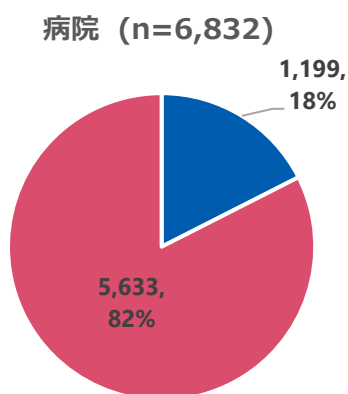


令和7年度外来機能報告結果について

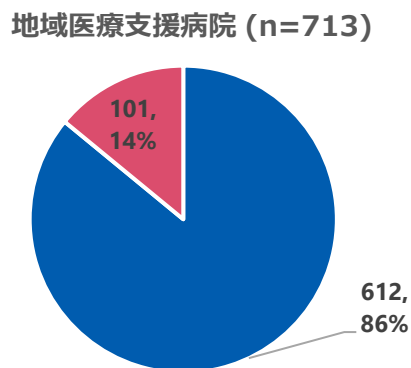
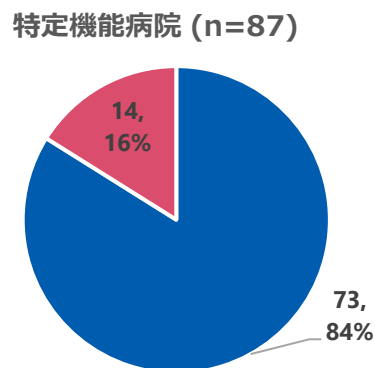
- 令和7年度の外來機能報告における報告医療機関数は、病院 6,832施設、有床診療所 4,649施設、無床診療所 42施設であった。
- そのうち、紹介受診重点外來に関する基準※¹への該当状況は以下のとおり。

紹介受診重点外來に関する基準への該当状況

■基準を満たす ■基準を満たさない



特定機能病院及び地域医療支援病院の基準への該当状況



「紹介受診重点外來」とは、次のいずれかの外來

- 医療資源を重点的に活用する入院の前後の外來（悪性腫瘍手術の前後の外來など）
- 高額等の医療機器・設備を必要とする外來（外來化学療法、外來放射線治療など）
- 特定の領域に特化した機能を有する外來（紹介患者に対する外來など）

※¹ 紹介受診重点外來に関する基準：

・初診基準：40%以上（初診の外來件数のうち「紹介受診重点外來」の件数の占める割合）かつ

・再診基準：25%以上（再診の外來件数のうち「紹介受診重点外來」の件数の占める割合）

※² 外來機能報告を行う意向を示し、外來機能報告を行った無床診療所

（出典）令和7年度外來機能報告

※ 外來機能報告制度は、病院及び有床診療所が対象（無床診療所は任意）。

※ 報告様式1（令和7年7月1日時点及び令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間）と報告様式2（令和6年4月1日～令和7年3月31日の1年間）を報告している医療機関を対象に集計。

※ 報告医療機関の報告率：病院 99%、有床診療所 96%、全体 98%。

※ 令和7年11月時点における特定機能病院及び令和7年9月時点における地域医療支援病院（地域医療計画課調べ）に基づく集計。